小ネタ

歯車兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
小ネタ

【Ｎコード】
Ｎ９４４０Ｘ

【作者名】
歯車兎

【あらすじ】
だってさ、先輩ホントにださいんだもん。

（前書き）

かなり短いです。

「廊下の角に足の薬指ぶつけて折ったぁ！？」
「そうなんだよ。もう超痛いの。」
「だっせえええええええ！！」
「そんな笑うなし。」

いや、だってソレ、ほんとマジで超ださいでしょ！
日丸谷先輩運動神経良いくせにどうなってんの、ちょ、笑い止まんないんだけど。超うける。

「だっせ、先輩超だっせ。死ね。」
「黒兎ちゃん酷い！もっと労わって！」

いや、俺も笑ったけど藤田も酷いな。死ねとか、先輩かわいそう。まぁダサいけど。
ワッ、と両手で顔覆って泣く真似する先輩。あー、あー、そんな事すると余計藤田にちょっかい、てかウザいだのなんだの言われるのに。

「今の黒兎ちゃんの言葉で足の指だけじゃなく心まで折れそうだよ！」
「ハハッ、折れれば良いのにクソが。」
「酷い！もう皇君も黒兎ちゃんもホント酷い！」

藤田先輩に対しては本当に辛辣。
いやさ、でもさ、ホント、先輩マジださいよね。コレは幸実や香月にも言っとかないとな…。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9440x/

小ネタ

2011年10月26日15時10分発行